

流通とSC・私の視点

2014年11月12日

視点(1872)

大量生産システムの21世紀志向の最終形は適正リサイクル!!

(流通経済編)

18世紀中期の産業革命は大量生産→大量販売→大量消費の3段階システムで、経済サイクルを完結させました。大量生産された商品を、19世紀型(イギリス型)では植民地で消費させる帝国主義で経済サイクルを完結させました。一方、アメリカ型(20世紀型)では、大量生産された商品を自国民を豊かにすることにより消費させるライフスタイル創出主義で経済サイクルを完結させました。

今、21世紀の時代となり、生産から販売、さらに消費の経済システムを2つ追加して、次の通りとすることが適切です(六車流：流通・マーケティング理論)。

- ①製造業者が大量生産されたモノを
 - ②流通業者が大量販売して
 - ③消費者が大量購入して
 - ④生活者が大量消費して
 - ⑤再生業者が大量リサイクルする
- …という経済サイクルが必要です。

この経済サイクルを「モダン消費経済時代」(モノを集客要素とする消費)、「ポストモダン消費経済時代」(モノ離れた後のコトを集客要素とする消費)、「ニューモダン消費経済時代」(コト離れた後のカチを集客要素とする消費)の3つの消費をタイプ別にフロー化すると次の通りです。

モダン消費 経済サイクル (インフレ経済)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量生産</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量販売</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量購入</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量消費</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量リサイクル</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正生産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正販売</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正購入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正消費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正リサイクル</div> </div>
ポストモダン消費 経済サイクル (デフレ&ディスインフレ経済)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量生産</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量販売</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量購入</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量消費</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量リサイクル</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #f8d7da;">過剰生産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正購入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正消費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #f8d7da;">過剰リサイクル</div> </div>
ニューモダン消費 経済サイクル (名目・実質のバランスの良い成長経済)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量生産</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量販売</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量購入</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量消費</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大量リサイクル</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正生産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正販売</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正購入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">適正消費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #f8d7da;">過剰リサイクル</div> </div>

- ①モダン消費経済サイクルの段階では、「過剰」は特定の分野あるいは特定の時間(期間)には発生しますが、基本的にはモノ消費旺盛時代ですので、バーゲン等で処分し問題とはなりません。
- ②ポストモダン消費サイクルの段階では、モノ離れた後であるため「過剰生産」「過剰販売」が発生します。過剰生産されたものはアウトレットストアやオフプライスストア等で処理されます。アメリカで1980年代、日本で1990年代にアウトレットストアやオフプライスストアが出現した由縁です。
- ③生産されたものが、何らかの形で有効に処分(例えばアウトレットストア、ボランティアによる未開発国への寄贈、リサイクルショップ活用等)されれば良いのですが、ポストモダン消費サイクルやニューモダン消費サイクルの段階においては、「過剰リサイクル」が発生します。モノ離れた後の成熟経済社会は特色を出すことによる差別化戦略の時代です。企業は「多様化戦略」と「計画的陳腐化戦略」を取り、消費及び有効なリサイクルではなく「未使用破棄」「トレンド破棄」「非耐久破棄」が大量に発生して、再利用やボランティアによる後進国への寄贈では間に合わず、廃棄処分(埋める、燃やす)します。ニューモダン消費時代は、大量生産されたものは最終処分まで企業は責任を持つべきです。まさに21世紀は持続可能な経済サイクルが必要です。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車 秀之